

横須賀版 学校運営協議会だより

学校が地域の中の学校であり続けること

～地域と共に創る学校 地域に愛される学校 地域を愛する子どもを育む学校～

横須賀市では、令和4年度に全市立学校に学校運営協議会を設置しました。それから、まもなく2年経とうとしています。まずは、各学校の学校運営協議会の立ち上げと、これまでのお取組に御礼申し上げます。



久里浜小学校運営協議会
「学校教育目標」に示されている目指す子どもの姿などを具体的に共有した

“学校運営協議会は学校の数だけその形がある”

とよく言われますが、横須賀市内でも様々な学校運営協議会の熟議とそこから派生した地域と学校の協働活動が行われてきました。

予測困難で変化の激しい社会の中で、子どもや学校に関わる問題も多様化、複雑化しています。子どもの教育を学校だけが担うのではなく、保護者や地域社会も一体となって学校と目指す目標を共有し、連携・協働しながら子どもを育てていくことが一層大切になっていることは、皆様のご周知のとおりです。



岩戸小中学校運営協議会
中学校の総合的な学習の様子
（地域と連携した防災学習）

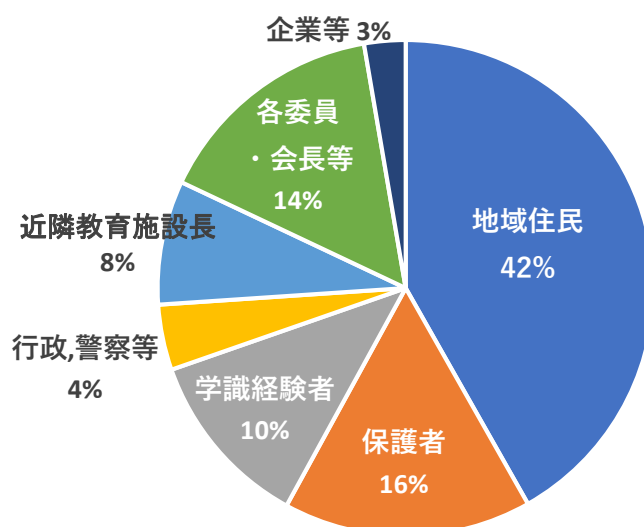
この学校運営協議会をより充実した組織にさせていただくために、「横須賀版学校運営協議会だより」を発行することにしました。横須賀市で目指す学校運営協議会の理念や市内の学校運営協議会の好事例、他地区の情報などを委員の皆様にお知らせいたしますので、今後のお取組の参考にさせていただきたく幸いです。

1

学校運営協議会委員の構成について

本年度は、市内で445名（延べ人数）の方が委員を引き受けてくださいました。委員の構成は右のグラフの通りです。地域住民と保護者が最も多く、学識経験者は元学校長、大学教授等、近隣教育施設長は学校近隣の幼稚園・保育園・こども園の園長先生や小中学校校長等、各委員・会長等にはスポーツ振興会会長や青少年育成推進員などの方々が委員を委嘱されています。

多種多様な方が学校運営協議会に関わり、熟議を行うことで新たなアイデアやつながりが生まれ、学校改善につながっています。



学校運営協議会委員の構成（令和5年4月現在）

2

学校運営協議会の中心的活動

学校運営協議会の機能は、目指す子ども像や学校教育目標やビジョンを共有し、その実現に向けた取組や支援について『協議』することです。

全国の学校運営協議会の研究大会などに参加すると地域連携の成果として地域と学校の協働活動の事例が多く紹介されます。もちろん、学校運営協議会が学校と地域の連携を促した成果であり、子どもや地域住民の具体的な姿が見れるので事例としては大変わかりやすいです。しかし、その活動の裏には「なぜその活動を行うのか」「活動によって子どもたちにはどのような力が身に付くのか」など、学校運営協議会の中で行った様々な議論の末、

活動につながっていることを忘れてはなりません。



衣笠小学校学校運営協議会の様子

学校で行う教育活動や課題について、どうすればよい方向に向かっていけるか「熟慮」し「議論」する「熟議」が、学校運営協議会の中心的活動となることを委員の皆さんで再確認していきましょう。

3

事例①「今、求められる授業を考える」 荻野小学校運営協議会

9月13日に行われた学校運営協議会では、右の写真のように委員の皆さんが6年生の社会科の模擬授業を体験しました。聖徳太子の「十七条の憲法」について「もし十八個目の条文をつくるとしたら、あなたならどういう条文にしますか?」と問いが出されました。必然的に十七条がどのような条文かを読み解き、聖徳太子という人やどのような時代背景だったかを調べる活動につながり、答えのない十八番目の条文について、皆で考えていく内容でした。

模擬授業後に行われた協議では、考えることを求める授業は、知識伝達型よりも楽しくてよいという意見が多く挙がりました。また、委員のみなさんは、ICT端末を使ってみて、とても驚いていました。全員の意見が一覧で見えることや自分の意見を先生にワンタッチで提出できることを知り、効率的であることや発表が苦手な児童に対する有効な支援になることなどが話題になりました。また、普通の会話によるコミュニケーションも重要で、両方のバランスが大事であることが指摘されました。

他の学校でも、委員で通学路を実際に歩いてみて、その後学校運営協議会で通学路について熟議したという事例もありました。これらの事例のように、委員が共通の体験を試みることで、委員の学校への理解が深まり、よりよい熟議につながるがあります。ぜひ、皆でアイデアを出し合い、協議効果を高める方法を考えてみてください。



荻野小の「学校だより」でも9月13日の協議会について紹介されました。

荻野小の「学校だより」でも9月13日の協議会について紹介されました。

荻野小の「学校だより」でも9月13日の協議会について紹介されました。

お知らせ

次年度の学校運営協議会情報交換会は
令和6年12月18日(水)15:00～

ヴェルクよこすかにて開催予定です。



情報交換会の様子
(令和3年：第1回)

荻野小学校学校運営協議会

荻野小は、2つの連合町内会にまたがっています。大楠連町代表として青木様に、武山連町代表として酒井様に会に入らせていただいております。運営協議会委員長は青木様にお願いしています。今年度は新しいグランドデザインをもとに、学校の方針や具体的な動きを理解していただくところに主眼を置いて会を進めています。

4

事例②「未来志向型拡大大学校運営協議会」 浦賀小学校運営協議会



8月25日（金）、浦賀小学校で「いちばん星を考える日」（拡大大学校運営協議会）が行われました。この日は、学校運営協議会委員だけでなく、地域の方々、保護者、卒業生、児童代表の約80名が参加しました。「まちの未来」をテーマに児童のプレゼンテーションを受けて、4つのグループで協議が行われました。児童の思い描く未来を受けて、感想を伝え合ったり、夢を持つことの素晴らしさを語っていただいたり、児童にアドバイスをくださったり、参加者の皆さんが児童の思いを真剣に受け止めていた様子うかがえました。参加した児童の中には、大人からの鋭い質問を受けても落ち着いて考え、答えている子もいました。プレゼンを含め1時間20分くらいの短い時間でしたが、浦賀の未来を大人も子どもと一緒に考えることができた素敵な時間になりました。

学校運営協議会では、必要に応じて委員以外の人も協議会に参加することができます。市内では、近隣校で合同の学校運営協議会を開いたという事例もあります。

浦賀小学校学校運営協議会

浦賀小学校学校運営協議会では、常に“学校FIRST.”を意識して意見をまとめてくださる矢島委員長、「ゆるく」「長く」をモットーとした学校ボランティア「グリーンプロジェクト」の長谷川委員、行政センター和田館長など、学校の教育活動に地域の力をどう活用するかをいつも真剣に話し合っています。

また、学校運営協議会では「何か課題を解決しなければ…」 「何か具体的な活動につなげなければ…」 と思いがちですが、浦賀小学校のように「未来」というビジョンを共有する未来志向型の熟議もあります。そのような熟議は、すぐに結果につながるようなものではありませんが、時間をかけて結果が出たり、何か別の結果につながったりすることがあります。皆が忌憚なく意見を出し合える学校運営協議会をつくってください。



編集後記にあたり、日頃から学校運営協議会委員として地域の子どもたちへ惜しみなく愛情を注いでくださる皆様へ心から感謝申し上げます。今後も学校運営協議会は続いていきます。情報交換会やこの「学校運営協議会だより」から、市内の事例や理念を共有し、充実した教育環境を築く一助となれば幸いです。引き続き力を合わせ、横須賀の子どもたちの未来を支えていく学校運営協議会をつくっていきましょう。